

◎ 自主運行バス路線変更とその後の取り組みは

問 実証運行計画に基づき、実証期間を定めているが、今後修正にあたり、利用者の声を反映させて路線変更するのか。

答 昨年と比べると利用者は少なくなっている。市民の使いやすさなどを参考に根本的な見直しが必要と認識している。最大限の努力をしていきたい。

◎ 高等学校新卒者就職支援の取り組みは

問 行政として採用意欲のある企業の掘り起こしはできないのか。

答 商工会議所などと連携し、企業と学校との情報交換会などを行い、新卒者の就職を働きかけていきたい。

◎ 学校での人間づくりをどう考えるか

問 子どもたちに、学校ではどのように学ぶ喜び、創造する心を実感させているか。

答 結果のみに執着させるのではなく、徳育を基盤として、仲間と切磋琢磨し合って、達成できた喜び、学ぶ喜び、創造する心を育むことを推進している。



自主運行バスの停留所

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎ 青パトの評価と助成は

問 本市の青パト(青色回転灯装備車)の登録台数は、全国的にもトップクラスであるが、どのように評価しているか。

答 青パトは犯罪抑止の上で効果があり、1月には県警から表彰を受けたように市としても感謝している。助成を増やすことは、自治会支援制度の中で今後検討していきたい。

◎ 市の防災の日の制定は

問 東南海地震が発生した12月7日を市独自の防災の日とし、職場や教育現場で取り組むのはどうか。

答 12月第1日曜日を「地域防災の日」とし、自主防災組織を中心に訓練を実施している。新たに制定はしないが、地震の

記憶を風化させない取り組みはしていきたい。

◎ 都市宣言の定着は

問 都市宣言を定着させるため、本市独自の取り組みが必要と思うが。

答 広報、公民館、教育などの場面での取り組みを考えている。東南海地震での疎開中の学童の犠牲などの体験談や出版物は、平和行政推進の貴重な題材として検討していきたい。



北分庁舎の防災展示コーナー